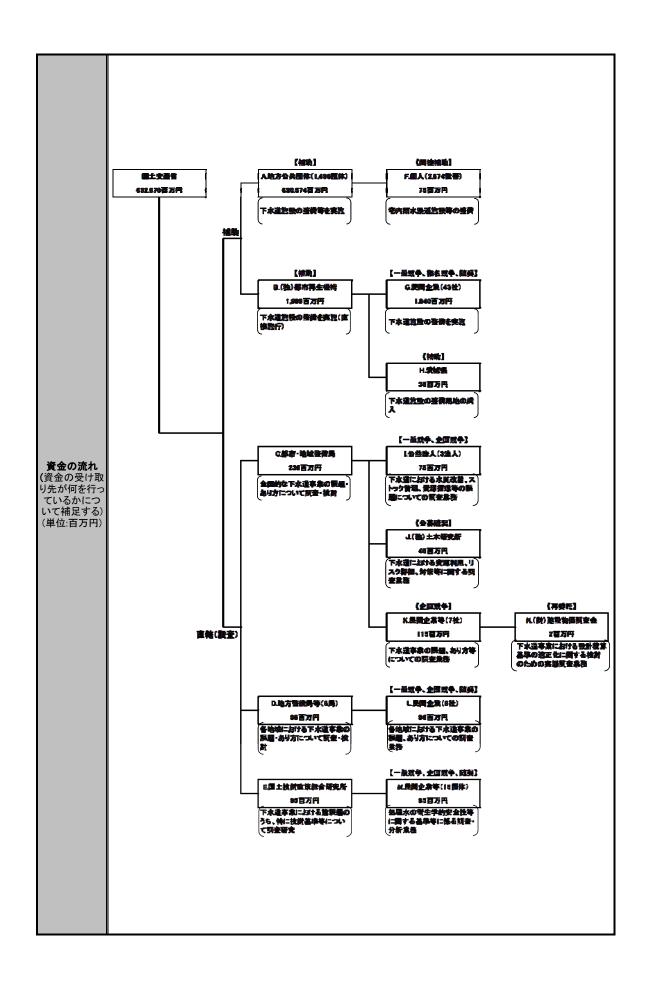
				/l -	— alle *			事業番	_	144
		T		行政₺	事業レビュー	-シー			(国)	L交通省) ————
予1	<b>算事業名</b>	下水道	事業		事業開始年度		昭和3	2年度		作成責任者
担当部局庁		都市・地域整備	情局 下水	道部	担当課室		下水道	事業課		課長 岡久 宏史
会計区分		一般	会計		上位政策	の				と緑のネットワーク 道資源の循環の推
根(具体)	拠法令  的な条項も記載)	下水道法第34条		関係する計画、通知等			-	_		
事業の目的 (目指す姿を簡潔 に。3行程度以内)		①し尿・生活雑排水などの ②バイオマスである下水: ③集中豪雨による浸水被	5泥等の有	効利用に	よる低炭素社会、行	盾環型社会		善、河川なる	どの公共	:用水域の水質保全
(51	<b>業概要</b> 行程度以 別添可)	〇地方公共団体が実施。 ①未普及解消下水道… 污水管の整備等(1/2等) ②水質保全下水道…河」 (1/2、5.5/10等) ③資源循環形成下水道。 污泥処理策下水道。 後浸水対策下水道。 ⑤地震流域下水道。 ⑤地震境整備下水道。 水環境改善に係る施設 〇下水道事業の計画的が	公衆衛生の (1) (1) (1) (1) (5.5/10等 (5.5/10)* (5.5/10* (5.5/	向上、生 共用水域 ラースを 会・ ラースを 会を ででする は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	活環境の改善を図るが の水質保全を図るが 型社会の構築を図るため、 害の軽減を図るため、 境の保全・創出を図等)	5ため、し房 cめ、下水が ため、下が ため、下が えていたで それにした で で で で で い ため、 し 、 の 、 の 、 の 、 の 、 で が り 、 で り 、 で り 、 で り 、 で り 、 で り 、 り り の り り り り り り り り り り り り り り り	処理場に メ処理場に ポンプ場 - 下水管の 1理水・雨	おける水処における下流の再水調整の水の再利用	理施設の水汚泥の整 水汚泥の整 変する整	D整備等 D有効利用を含めた 備等(1/2等) B備等(1/2等)
				単位	 19年度末		20年度	<u></u>		21年度末
実	施状況	公共下水道事業実施市町	T村数	箇所	1,461		1,45		1	,455(見込み)
		流域下水道事業実施都近	鱼府県数	箇所	41		41			41
			19年	度	20年度	21年	度	22年	度	23年度要求
<b>~</b> (	# <b>~</b> 44.70	予算額(補正後)	674,6	70	649,618	630,3	303	49,2	10	17,330
	<b>算の状況</b> 位:百万円)	執行額	639,8	44	640,883	632,9	970			
		執行率	94.8	3%	98.7%	100.49	% ×			
		総事業費(執行ベース)	1,188,		1,192,888	1,195				
・本事業は、地方公共団体等に対する補助事業であるため、支出先である地方 安進の把握水準・ 状況  自  音  下及対策については、引き続き人口減少や高齢化の本格化等を前提に適切が縮小を含めた計画の見直しを行うと共に、地域の実状に応じた早期かつ低コ										
己点	状況	普及対策については、引縮小を含めた計画の見	直しを行う。							
己点	状況	普及対策については、引	直しを行う。 ]る。 事業の廃」 なび大規模 と域間格差	と共に、 <sup>は</sup> 上を前提 地震の多 等を勘案	也域の実状に応じた とする検証) 5発化、閉鎖性水均 ミして、引き続き事業	:早期かつ における:	低コスト	の整備手流 、深刻化し	よを導入 、ている₺	するなど事業の- 地球温暖化、或い
己点検 予算監視・効	状況 見直しの 余本 事業分補もの だけるもの でとし をし を し するし の の が に する し する し る も の る も の る る も る も る も る る も る る る る	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務本事業は、集中豪雨及は、汚水処理における地では、上記のとおり見直ご] 団体向けの事業については、上記のと著額、過年度本整額、過年度本を対策については、より、事業のとする。社会では、より、事業のとする。社会により、事業の	直しを行う。 事では、 まで、 のので、 のので、 では、 は、 なが、 は、 なが、 は、 なが、 は、 なが、 は、 なが、 は、 なが、 は、 なが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 で	と共に、 大	地域の実状に応じたとする検証) 5発化、閉鎖性水域 をして、引き続き事動効率化を図る。 総合する事業について 業の実施について を設規模の縮いや・ 率化を図る。	ニ早期かつ はにおける: きとしては: により地プ いては、引: は、緊急が 他の汚水を	低 水継 ちき生の 団下い設 田田	の整備手法が深刻化しる。 、深刻があるは、次要がある。 体水安全をは、変を強に、は、変を変がある。	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上とでに報策にになる。
己点検 チームの所見 予算監視・効率	<b>状況 見食地</b> 「事方しするもった。	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務本事業は、集中豪雨及は、汚水処理における地では、上記のとおり見直ご。」 団体向けの事業については、過年資本整額、過年資本を対象。社会資本を対策については、地	直しを行う。 事では、 の の で は か の の で で で で で で で で で で で で で で で で で	と共に地等重 登体に応点 きまん は、 は、 は、 は、 を震めまい を はいまして を はいまして は、 で きまん は、 で きまん は、 で きまん は、 で きょん はい	地域の実状に応じたとする検証) 5発化、閉鎖性水域 を見して、引き続き事動 効率化を図る。 総合交付金零について で設規模の縮小や・ 率化を図る。	ニ早期かつ はにおける: としては、ほとしては、ほいては、ほうには、緊急性地の汚水を	低 水継	の整備手法が深刻化しる。 、深刻があるは、次要がある。 体水安全をは、変を強に、は、変を変がある。	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上とでに報策にになる。
己点検 チームの所見 予算監視・効率	状況 <b>見食地</b> 【事方しすもしず を共助が行と直 ※「平 平 2016 1016 1016	普及対策については、引縮小を含めた計画の見詞層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務本事業は、集中豪雨以は、汚水処理における地では、上記のとおり見直では、上記のとおり見直では、上記のとおり見直を登る。社会資本整備終音及対策については、地壁に行うことにより、事業の経過に表す。	直しを行う。 事では、 の の で は か の の で で で で で で で で で で で で で で で で で	と共に地等重 登体に応点 きまん は、 は、 は、 は、 を震めまい を はいまして を はいまして は、 で きまん は、 で きまん は、 で きまん は、 で きょん はい	地域の実状に応じたとする検証) を発化、閉鎖性水域を入て、引き続き事動が率化を図る。 総合交付金の活用に対する事業について施設規模の縮小や・率化を図る。	ニ早期かつ はにおける: としては、ほとしては、ほいては、ほうには、緊急性地の汚水を	低 水継   5き生の理   超業   では   では   では   では   では   では   では   で	の整備手法が深刻化しる。 、深刻があるは、次要がある。 体水安全をは、変を強に、は、変を変がある。	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上してに報策にに転
己点検 チームの所見 予算監視・効率	状況 見食地 「事方しするにか 「平 ででいる。 「中 ででいる。 「中 ででいる。 「中 ででいる。 「中 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に 層の重点化・効率化を図 (20年以上経過した事務 本事業は、集中豪いとは、汚水処理におり見直 では、上記のとおり見直 一部本差額、社会資本整備約 等及対策について過年度本整備約 等とする。社会資本整備約 等に行うことにより、事業の 知に前年度からの繰越に 年度事業仕分け評価結	直した。 また	と共 と地等重 資体にで点 が各 から はいます から	地域の実状に応じたとする検証) 5発化、閉鎖性水均 5発化、閉鎖性水均 5足て、引き続き事業 効率化を図る。 総合する事業について 業の実施において でを関模の縮いや・ 率化を図る。	: 早期かつ はにおける: により地づいては、引: は、緊急性 他の汚水ダ が100%を事	低 水継 ちきまの 団下い設 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	の整備手法で必要がある。	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上してに報策にに転
己点検 予算監視・効率	状況 <b>見余地</b> 【事方しすもの 楽出期の 「本本語」 「中平 1015 までは、「本語 1015 までは、「	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務本事業は、集中豪雨及は、汚水処理における地では、上記のとおり見直・計画体向けの事業については、上記のと音級、社会資本整体地等に行うことにより、事業の対策についた。事業の日本を表現を表現では、事業の日本を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	直した。 また は は は ない は から は が は が は から は から は から は から は から は	と共 と地等重 資体に応点 が各 ない はいます ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる はいい はい	地域の実状に応じた とする検証) 多発化、閉鎖性水域 多発化、閉3機性水域 多発化、閉3機性水域 の本化を図る。 総合交る事業について を設規模の縮いや 率化を図る。 るため、「執行率」が なの判断に任せる」	- 早期かつ はにおける。 はとしては、 いては、気かい いては、気が、 いては、 いでは、 いでは、 いでは、 いでする。 いでする。 は、 いてが、 いでする。 いでする。 いでする。 いでする。 いては、 いでする。 いでする。 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、	低 水継 与き集の 団下い設 超業 (21年度) 42200 432	の整備手法の整備手法の整備手法のをはいる。	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上してに報策にに転
己点検 予算監視・効率	大況 <b>見食地</b> <b>『事方しすもにを</b> 「中本 「中本 「中本 「中本 「中本 「中本 「中本 「中本	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務本事業は、集中豪雨及は、汚水処理におり見直、活水処理におり見直・計画のとおり見直・計画を差額、社会のとおり表面を接続を表する。社会では、よれていては、上記のとおり、一次を差額、社会のというでは、ままでは、一次では、上記のとなり、一次では、上記のとなり、一次では、事業のというでは、事業のは、一次では、一次では、事業のというでは、事業のは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で	直した。 また は は は ない は から は が は が は から は から は から は から は から は	と共 と地等重 資体に応点 が各 ない はいます ではいる ではいる ではいる ではいる ではいる はいい はい	地域の実状に応じた とする検証) 多発化、閉鎖性水域 多発化、閉3機性水域 多発化、閉3機性水域 の本化を図る。 総合交る事業について を設規模の縮いや 率化を図る。 るため、「執行率」が なの判断に任せる」	= 早期かつ によけいるにはいては、 いては、 いては、 いでは、 の が100%を 事 (下水 連編) いは7百万円 437百万円	低 水継 与き集の 団下い設 超業 (21年度) 42200 432	の整備手法 (水安の整備・1) (水安の整備・1) (水安の整備・1) (水安の整備・1) (水学・1) (水学・	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上してに報策にに報策に重点化を図る
己点検 チームの所見 予算監視・効率化	大況 <b>見余地</b> 『事方しすもの 「本本語 「中平 にいるもの 「中平 にいる。 「中平 にいる。 「中平 にいる。 「中平 にいる。 「中では、 「・ 「中では、 「中では 「中では 「中では 「中では 「中では 「中では 「中では 「中では 「中では 「中では 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは 「もでは	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務の重点化・効率とは、集中豪雨なは、汚水処理における地では、上記のとおり見直に引き額。社会資本整備終音を関する。社会資本整備終音を表する。社会資本を構修していては、事業のとする。社会資本を構修していては、事業のとする。社会資本を構修していては、地位に行うことにより、事業の地が環境等事業計に必要な経費を表す。	直る。 まびはし は方のの 一件 では、	と 上地等重 資体に応点 が各 *** ・	地域の実状に応じた とする検証) 多発化、閉鎖性水域 を発化、閉き続き事動 効率化を可含る。 総合する事業について を設規模の縮小や を設規模のる。 るため、「執行率」が なの判断に任せる」	- 早期かつ はにおける。 はとしては、 いては、気かい いては、気が、 いては、 いでは、 いでは、 いでは、 いでする。 いでする。 は、 いてが、 いでする。 いでする。 いでする。 いでする。 いては、 いでする。 いでする。 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、 いでは、	低 水継 ちきまの 団下い設 でしまる 団下い設 でしまる コンドル は 2002 (21年度) 139.18	の整備手法の整備手法の整備手法のをはいる。	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上してに報策にに報策に重点化を図る
コ点検 チームの所見 補 予算監視・効率化	大況 <b>見余地</b> <b>見余地</b> 『事方しすともを 「平 業公補もの、 「平 執成 21 「 本	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務の重点化・効率とは、集中豪雨は、、汚水処理におり見しては、上記のとおり見直とおり、事業については、上記の事業に回してもりを育る。社会資本整備総合を設立しては、事業のとする。社会資本整備総に行うことにより、事業のとは、事業のといる。本は、事業のといるのでは、またいるのでは、またいる。またいるのでは、またいる。これのでは、またいる。これのでは、またいるのでは、またいるのでは、またいるのでは、またいるのでは、またいるのでは、またいる。これいるのでは、またいるのでは、またいる。これのでは、またいる。これのでは、またいるのでは、またいる。これのでは、またいるのでは、またいる。またいるでは、またいる。またいる。またいる。またいる。またいまないる。またい。	直しる。 またでは、	と 上地等重 資体に応点 が各 ない は、	地域の実状に応じた とする検証) 5発化、閉鎖性水域 5発化、閉音続き事動 効率化を付事にである。 総合する事について でもまたのに変化を図る。 るため、「執行率」が なの判断に任せる」 (2)	- 早期かつ にとしり、は いては、 いては、 いては、 の が1000道 ・ 147百万円 ・ 147百万円 ・ 147百万円 ・ 147百万円 ・ 147百万円 ・ 1775百百万円 ・ 1775百百万円 ・ 1775百百万円 ・ 1775百百万円	ME 水継 与き生の理 起業 (21年度) 35.41 432.02 (21.139.16) 139.16	の 整体 水安の	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。 計上してに報策にに報策に重点化を図る
コ点検 チームの所見 補 予算監視・効率化	大況 <b>見余</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>東大田の</b> <b>大平</b> <b>東大田の</b> <b>大平</b> <b>大平</b> <b>大平</b> <b>大平</b> <b>大中</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b>	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務不事業は、集中中豪山とは、汚水処理におり見直、大きな、生まれる。 一日の事業に回じた。 一日の事業に対して、 日日の事業に対して、 日田の事業に対して、 日田のの事業に対して、 日田のの事業に対し、 日田のの事業に対し、 日田のの事業に対して、 日田のの事業に対し、 日田のの事業に対し、 日田のの事業に対し、 日田のの事業に対し、 日田のの事業に対	直る事ではしては大き域の一件。 の規格い 会共の間では大分交実の 金施 あままま いままま からまま からまま からまま からまま からまま からまま か	と 上地等重 資体に応点 が各 ない は、	地域の実状に応じた とする検証) 5発化、閉鎖性水域 5発化、閉音続き事動 効率化を付事にである。 総合する事について でもまたのに変化を図る。 るため、「執行率」が なの判断に任せる」 (2)	三早期かつ は として い は とし い は い は い は い は い は い は い は い は い が 1 0 0 9 6 連 が 1 4 7 百 5 万 円 月 7 7 6 6 1 5 万 円 7 7 7 6 1 5 万 円 7 7 7 6 1 5 万 円 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	低 水継 与き集の理 起業 (21年家 4220 139.18 139.18	の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。; 計上してに報策に正に報策に重点化を図る
コ点検 チームの所見 補 予算監視・効率化	大況 <b>見余地</b> 「本地に行と直 ※※  「本本は、 」、 「本本は、 」、 「本本は、 」、 「本は、 」、 「本は、 」、 「本は、 」、 「本は、 」、 「本は、 」、 「本は、 「本は、 」、 「本は、 「本は、 「本は、 「本は、 「本は、 「本は、 「本は、 「本は	普及対策については、引縮小を含めた計画の見に層の重点化・効率化を図(20年以上経過した事務本事業は、集中豪雨及は、汚水処理におり見直、活動を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を	直る 事ではし はちらばつ (件里) ない ままま いまま はちょう の 現格 い はちらばつ (件里) ない ままま いままま いままま いままま いまままま はまままままままままま	と 上地等重 資体に応点 が各 大 大 で で で が 大 で で が 大 で で で が 大 で で の あ は に に の も に の に に の に に に の に に に の に に の に に に に に に に に に に に に に	地域の実状に応じた とする検証) 多発化、閉鎖性水域 多発化、閉鎖性水域 多発化、閉音続き事態 効率化を付事にである。 総合すす実施に縮小 を設規模のる。 るため、「執行率」が なの判断に任せる」 なの判断に任せる」 なの判断に任せる」	- 早期かつ はとし りょく いっと	低 水継 与き生の 超来 (21年度) 139,18 (291 )	の 整体	まを導入 こでいるが、特に 実予境対策 では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、特に では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	するなど事業の- 地球温暖化、或いに普及対策につい べき事業とする。; 計上してに報策に正に報策に重点化を図る



A.東京都 E.国土技術政策総合研究所 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 下水道事業における諸課題のうち、 特に技術基準等について調査研究 都市水環境整備事業資補助 下水道事業費補助 下水道防災事業費補助 等 下水道施設の整備等を実施 60,662 下水道事業調査費 95 60,662 95 計 計 B.(独)都市再生機構 F.個人(A氏) 金 額 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) (百万円) 下水道施設の整備を実施(直接施 エ) 下水道事業費補助 下水道防災事業費補助 8市水環境整備事業養補助 下水道事業養補助 下水道防災事業養補助 宅内雨水浸透施設等の整備 1,876 0.2 下水道事業費補助 下水道防災事業費補助 下水道施設の整備用地の再取得 93 **費目・使途** (「資金の流れ」 においてブロッ においてプロックごとに最大されている者がる者について記載する。使途と実情のの次々ではない。 計 1,969 0.2 C.都市·地域整備局 G.民間企業(東洋建設(株)) 金 額 費目 使 途 費目 使 途 が分かるように (百万円) (百万円) 記載) <sub>下水道事業調査費</sub> 全国的な下水道事業の課題・あり方について調査・検討 236 下水道事業養補助 下水道防災事業養補助 下水道施設の整備を実施 149 計 236 計 149 D.九州地方整備局 H.茨城県 金額(百万円) 金 額 費目 使 途 費目 使 途 (百万円) 下水道事業調査費 あり方について調査・検討 下水道事業養補助 下水道施設の整備用地の購入 36 35 計 35 計 36

		I.(財)下水道新技術推進機構			M.共和技術(株)	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	下水道事業調査費	下水道による水質改善、ストック管理 等に関する調査業務	62	下水道事業調査費	有機物や微生物等の水質に関する分 析業務	23
	計		62	計		23
		J.(独)土木研究所	A +-T		N.(財)建設物価調査会	A \$7
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	下水道事業調査費	下水道における資源利用、リスク評価・対策等に関する調査の うち特殊な技術や施設を用いて実施する調査業務	46	下水道事業調査費	下水道事業における設計積算基準の適正化 に関する検討のための実態調査業務	2
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」						
においてブロッ						
クごとに最大の金額が支出さ	計		46	計		2
れている者に ついて記載す	ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					^ +-
る。使途と費目 の双方で実情	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
が分かるように 記載)	下水道事業調査費	下水道における化学物質による水質 リスク等に関する調査業務	32			
	 計		32	計		0
	P1	L.日本工営(株)	02	н		-
	費 目	使 途	金額	費目	使 途	金額
	下水道事業調査費	各地域における下水道事業に係る計画の調査業務	<u>(百万円)</u> 58		~ ~	(百万円)
		M.3 TE 512.3V				
	計		58	計		0
	н		00	н.		ŭ

A.地方公共団体(1,496団体)630,574百万円			
No.	支出先	金額 (百万円)	
1	東京都	60,662	
2	大阪府	48,209	
3	愛知県	46,657	
4	神奈川県	39,540	
5	福岡県	32,164	
6	新潟県	27,114	
7	埼玉県	25,683	
8	兵庫県	24,601	
9	北海道	22,698	
10	千葉県	18,902	

	D.地方整備局等(8局)96百万円				
No.	支出先	金額 (百万円)			
1	九州地方整備局	35			
2	関東地方整備局	23			
3	中部地方整備局	13			
4	中国地方整備局	12			
5	沖縄総合事務局	5			
6	北陸地方整備局	3			
7	四国地方整備局	3			
8	東北地方整備局	2			

	F.個人(2,674世帯)75百万円				
No.	支出先	金額 (百万円)			
1	A氏	0.2			
2	B氏	0.1			
3	C氏	0.1			
4	D氏	0.1			
5	E氏	0.1			
6	F氏	0.1			
7	G氏	0.1			
8	H氏	0.1			
9	I氏	0.1			
10	J氏	0.1			

G	G.民間企業等(43社)1,840百万円				
No.	支出先	金額 (百万円)			
1	東洋建設(株)	149			
2	戸田建設(株)	144			
3	奈良建設(株)	139			
4	(株)鴻池組	136			
5	鈴縫工業(株)	130			
6	メタウォーター(株)	129			
7	(株)大本組	114			
8	鉄建建設(株)	103			
9	(株)森本組	81			
10	河本工業(株)	67			

	I.公益法人(3法人)	75百万円
No.	支出先	金額 (百万円)
1	(財)下水道新技術推進機構	62
2	(社)土木学会	8
3	(社)日本下水道光ファイバー技術協会	5

I	K.民間企業等(7社)115百万円					
No.	支出先	金額 (百万円)				
1	(株)日水コン	32				
2	(株)野村総合研究所	31				
3	(株)建設技術研究所	18				
4	日本下水道事業団	13				
5	(株)三菱総合研究所	9				
6	日本上下水道設計(株)	6				
7	(株)東京設計事務所	6				

	L.民間企業(8社)96百万円				
No.	支出先	金額 (百万円)			
1	日本工営(株)	58			
2	復建調査設計(株)	12			
3	中日本建設コンサルタント(株)	7			
4	パシフィックコンサルタンツ(株)	6			
5	(株)建設技術研究所	5			
6	日本上下水道設計(株)	3			
7	(株)四電技術コンサルタント	3			
8	(株)エイト日本技術開発	2			
_		_			

	M.民間企業(16社)95百万円					
No.	支出先	金額 (百万円)				
1	共和技術(株)	23				
2	(株)日水コン	20				
3	(株)クリタス	10				
4	八千代エンジニヤリング(株)	7				
5	(株)新日本環境調査	6				
6	(株)建設技術研究所	6				
7	(株)エイト日本技術開発	5				
8	中日本建設コンサルタント(株)	3				
9	日本上下水道設計(株)	3				
10	(株)G&U技術研究センター	3				